町田市議会だより

開かれた議会で いいことふくらむまちだ

No.211　平成31年１月30日発行

編　集：議会運営委員会　　発　行：町田市議会
〒194－8520　町田市森野２－２－22

平成30年（2018年）
第４回定例会
11月29日～12月21日

市議会ホームページもご覧ください。
http://www.gikai-machida.jp/

町田市議会へのご意見をお寄せください。
電話 042-724-4049　FAX 050-3161-7663
eメール gikai@city.machida.tokyo.jp

・お寄せいただいたご意見の要旨が広報紙等で紹介される場合がございます。ご了解の上、送信ください。
・第３者の誹謗、中傷、個人情報などは送信しないでください。
・原則として個別の回答は行いません。

スマートフォン用QRコード

11月10日（土）に開催された「第２回　高校生と町田市議会議員の意見交換会」の様子

平成30年12月補正予算を可決

第16期町田市議会改革調査特別委員会を設置

２０１８年11月10日に、第２回目となる高校生との意見交換会を開催しました。

当日は市内の高校生が27名参加し、昨年の２倍以上の規模となりました。高校生と議員12名が６グループに分かれ、町田のよいところや改善してほしいことなどについて、グループごとにテーマを決めて、議論を行いました。その後本会議場で高校生が発表を行いました。大盛況のうちに終了したことで、市議会にとって有意義な成果が得られました。

また、意見交換会の内容について、12月21日に議長等が石阪市長へ報告を行いました。

意見交換会の詳細は８面へ

主な内容

２～５面★一般質問
５面★平成30年度12月補正予算のあらまし
　★意見書（要旨）
６面★委員会の審査から
　★常任委員会の活動状況
７面★議案審議結果一覧表
　★傍聴者の声（アンケートから）
８面★第２回 高校生と議員の意見交換会

本定例会は、11月29日から12月21日までの23日間にわたり開催され、議案37件、請願２件を審議しました。

審議の結果、市長提出議案は26件を可決しました。

議員提出議案は８件を可決、３件を否決しました。

また、市民から提出された請願は２件を不採択としました。

第16期町田市議会改革調査特別委員会を設置

平成30年12月11日に開催された本会議で、町田市議会のあり方についての議論を深め、議会の権能強化及び環境整備、議員の調査活動及び議員の身分等について改革を進め、活性化を図るため「第16期町田市議会改革調査特別委員会」の設置を求める動議が提出され、賛成多数で可決されました。

委員（定数10人）
◎藤田　学　○松葉ひろみ
東　友美　星だいすけ
木目田英男　わたべ真実
白川　哲也　佐々木智子
松岡みゆき　おく　栄一
（◎委員長　○副委員長）

付議事件
①議員の調査活動等に関する事項
②議会の権能強化及び環境整備に関する事項
③市民と議会の関わりに関する事項
④議会の情報提供に関する事項
⑤議員の身分等に関する事項の調査・検討

設置期間
本件の審査終了まで（閉会中も継続審査）

◎3月定例会のお知らせ（予定）

月	日	内容
2	20（水）	本会議（包括外部監査結果報告・補正予算提案理由説明・委員会付託）
		議会運営委員会
	22（金）	常任委員会（総務・健康福祉・文教社会・建設）
		議会運営委員会
	25（月）	本会議（表決・施政方針・新年度市長提出議案提案理由説明）
		議案説明会
	26（火）	全員協議会
3	7（木）	本会議（代表・個人質疑）
		議会運営委員会
	8（金）	常任委員会（総務・健康福祉）
	11（月）	常任委員会（文教社会・建設）
	12（火）	常任委員会
	13（水）	常任委員会予備日
	14（木）	本会議（一般質問）
	15（金）	
	18（月）	
	19（火）	
	20（水）	
	22（金）	
	28（木）	本会議（表決）
		議会運営委員会

日程は変更になる場合があります。

請願・陳情の受付締切は、**2月20日（水）午後5時**です。※受付締切日にご注意ください。

一般質問

12月4日から7日、10日の5日間にわたり、34名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをただしました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。

※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。

各議員のタイトル下にあるQRコードから一般質問の録画映像にアクセスできます。

※動画の再生には別途通信料がかかります。

小中学校体育館エアコン設置を

村まつ俊孝（公明党）

問 都議会公明党の要望により都は平成30年度12月補正予算案に体育館エアコン補助81億円を計上したが、市の取り組みはどう変わるか。

教育長 国の学校施設環境改善交付金、今回新設される都の補助制度を最大限活用し、小中学校体育館への空調設備の整備を検討していきたい。

問 補助制度を有効に活用する上での課題は何か。

学校教育部長 補助制度の内容が明らかになっていなかったこと、市のエアコン設置の計画が決まっていなかったため、国への補助申請を行っておらず、19年度は国や都の補助を活用できない状況です。

問 早期設置のため、12月都議会を踏まえ、最善を尽くすべきと考えるがどうか。

学校教育部長 国と都の補助を最大限に活用し、情報収集にも努めていきたい。

在宅療養と緩和ケア、ホスピス

藤田　学（自由民主党）

問 在宅療養の推進における緩和ケア、ホスピスの充実の必要性について問う。

保健所長 療養生活中心の病棟としてホスピスがあるが、在宅医療でも緩和ケアは必要で、どこでも病状に応じて適切な緩和ケアが提供されることが望ましいと考えています。

問 「まちだDサミット」の事業効果をどう展開し、生かしていくか。

いきいき生活部長 さまざまな分野の方と一緒にワークショップを開催するなど、取り組みを進めていきます。

問 リニア上小山田非常口新設工事と尾根緑道、狭隘道路、下水道整備など地元周辺環境整備との連携を求める。

道路部長 尾根緑道はJR東海と協議を進めます。新設工事と連携して進める整備によりトバ谷戸の住環境がより向上すると考えています。

低コストで健康寿命を延ばす！

三遊亭らん丈（自由民主党）

問 町田市では健康寿命を延ばすさまざまな施策を実施しているので、より一層の告知に努めるべきだと考える。

いきいき生活部長 「広報まちだ」や介護予防手帳といった紙媒体を中心としたご案内になるが、より多くの方にご参加いただけるよう、ホームページ上の案内についても工夫したいと思います。

問 給食費の徴収では、教職員の負担を減らすためにも、公会計化を導入すべきである。

教育長 先進市の視察や情報収集などを行い、20年4月からの開始を目標に準備を進めているところです。

問 学校図書館の図書分類は、統一したルールによって実施すべきではないのか。

学校教育部長 全校が一律に分類できるよう、司書教諭や図書指導員等と協議し、マニュアル化を含め検討したい。

市職員による営業職者への偏見

吉田つとむ（保守の会）

問 町田市は営業職の仕事に対して、「営業さんは、自社のいいことしか言わない」と述べているが、それは公務員的な士農工商の立場による職業偏見を持った差別意識ではないか。私の営業マンとしての経験上、営業職はさまざまな比較を述べて仕事を得る職業だとみなしています。

総務部長 今回のこの職員の発言、議員がご出席されている中でということですが、営業の方の自社の物品、サービスとか情報など、商品の購入を促すということだと思いますが、やはり営業をなりわいにしている方のプライドを傷つけることでもあると認識しています。差別の意識ということはないかと思いますがこういったことが起こらないように、これからも1つ1つの仕事に対して職員にも周知していきたいと考えています。

「夢」のまちだをつくろう！

熊沢あやり（自由民主党）

問 三多摩26市中20市が実施している消防団の健康診断を実施すべきと考えるが。

防災安全部長 消防団員を健康診断の対象とするかは、消防団長と相談しています。

問 台風時の倒木による二次災害を防ぐために、適切な管理を考えるが。

都市づくり部長 点検項目と伐採処理等の判断基準などを定める必要があります。講習会を行い、市民の方にも伐採、剪定の必要性をご理解いただければと考えています。

問 次期基本構想・基本計画について、これまでのものと違う点はどこか。

市長 市民が将来に向かって夢、希望を持てるような市の将来像を描き、実現できるような計画にしていきたい。なりたい未来の姿を高校生や大学生と一緒に検討していくことなどを考えております。

ブータン王国に消防ポンプ車を

渡辺厳太郎（自由民主党）

問 町田市が使用し終わった消防ポンプ車を親日国であるブータン王国に寄贈すべきと2年前から提言し、その経費確保やルートについても示してきたが、進捗が遅い。また、今後も町田市にゆかりのある国へ積極的に寄贈することで、市民の国際協力への意識を醸成すべきだが。

防災安全部長 18年度中に寄贈できたらということで王国側と調整を進めています。王国からの要請文には、技術指導のこともありましたので、消防団長には相談しており、その意向を踏まえ、人員の渡航についても協議を進めたい。

髙橋副市長 キャンプ地として受け入れるインドネシア、南アフリカとのつながりの中で関係ができていけば、交流が含まれた寄贈もできていくと思いますので、今後、協議ができればと考えています。

消防ポンプ車

公共ます設置／乳児液体ミルク

松岡みゆき（自由民主党）

問 公共ます設置の承認に時間がかかる。近隣市は既に立会いがない。近隣へ、アンケート調査されたが結果は。

下水道部長 14市町村にお尋ねをしていますが、まずはアンケートをとったところに集計結果をお伝えしたり、わからない点を聞かせていただいてからと思っています。

問 業務処理を改善しては。

下水道部長 他市の状況を聞き、業者の生の声を聞いて今後反映させていきたい。

問 災害時の乳児用液体ミルクが日本にはないが、今年、やっと解禁された。文京区は全国に先駆け来春、備蓄する。市も乳児を守るために備蓄を。

防災安全部長 熊本地震の際、有効との報道を受け、他自治体及び関連企業からの情報収集を行いました。コストや保存期間などの課題もあり、調査を継続していきます。

小中学校体育館エアコン設置へ

田中美穂（日本共産党）

問 猛暑対策として、小中学校体育館にエアコンを設置すべきだがどうか。

教育長 他自治体の視察を行い、空調方式や費用などを研究しています。学校ごとに大きさや構造等が異なり、調査や設計が必要と考えています。都の補助事業の実施期間を考慮し、早急に検討します。

問 東京都の補助を活用ということは、2021年までに全校を対象としているのか。

学校教育部長 小学校42校、中学校20校の62校と、教育センターの体育館を想定しているところです。

問 来年度からの小学5年、中学1・2年移動教室の補助廃止を中止すべきだがどうか。

学校教育部長 校長会とも検討し、他市と同程度になるようバス代補助を段階的に廃止することにしました。廃止は計画どおりに進めます。

中心市街地に映画館の誘致を！

いわせ和子（自由民主党）

問 文化を愛する町田市民のために、中心市街地に映画館の誘致を。

市長 企業の出店の立地奨励をできれば前向きに検討したいと考えています。容積を上乗せすることも、エリアを限定して制度をつくることが必要だと思っています。このエリアをどうするかをマネジメントしないといけない。行政は、民間企業の再開発を後押しする役割が大きくなると思います。これから施策化を早目にしたいと考えています。

問 小中学校の体育館にエアコンの設置を。

教育長 他自治体の視察を行い、設置にかかる費用などを研究しています。学校ごとに大きさや構造等が異なっており、調査や設計が必要と考えています。都の補助事業の実施期間を考慮し、実施について早急に検討します。

図書館のあり方／成瀬踏切

木目田英男（自由民主党）

問 今後の図書館のあり方について市の見解は。

教育長 市民の皆様に情報収集の場を提供する等に加え、コミュニティー形成支援にも力を入れたいと考えています。あり方の見直しは、18年度中に方向性を決定する予定です。

問 成瀬踏切のさらなる安全対策を求めるがどうか。

道路部長 地元の要望なども参考に、注意喚起の看板や路面標示など、今後も必要な安全対策は行っていきたい。また、近隣の学校へ交通マナー向上の働きかけを行っていきたいと考えています。

問 総合体育館の観戦環境の充実のため、大型映像装置の設置をスピード感を持って行うべきだと思うがいかがか。

文化スポーツ振興部長 見るスポーツの充実を図るため、スピード感を持って設置する必要があると認識しています。

文化財保護／運動施設に広告を

新井よしなお（諸派）

問 文化財を観光資源として、活用を検討できないか。

生涯学習部長 文化財保護審議会へは観光への寄与も含め、引き続き通称鎌倉古道について検討していただけるようお伝えしたいと思います。

問 陸上競技場や野球場等の運動施設にネーミングライツの活用や広告を出し、財源を確保して施設整備費に充てるべきだがどうか。

都市づくり部長 陸上競技場のネーミングライツ導入状況等を見定め、他の運動施設においても、広告料も含めて活用を検討していきます。

問 町田一中建てかえ時の部活動をする場所として近隣施設を活用すべきだがどうか。

学校教育部長 後田グラウンド以外に町田市民球場などを利用しており、各施設の利用時間は、部活動に合わせて確保するよう調整しています。

災害発生時における停電対策を

おさむら敏明（自由民主党）

問 地震、豪雨、強風などによる停電被害、備えを啓発して影響の軽減に努めよ。

防災安全部長 東京電力パワーグリッド株式会社と協定を締結し、停電発生時に情報共有を行うとともに、防災行政無線などを利用し、停電状況や復旧及び回復状況などを周知することとしています。

問 公務員の65歳定年(案)、給与7割水準、役職定年制など仕事に対する意欲を失うことのないよう、制度化して、すぐれた経験を生かせ。

総務部長 能力、経験を生かせる職務の整備も含め、執行体制の検討もあわせて進めていきたいと考えています。

問 南町田グランベリーパークまちびらきはいつごろか。

木島副市長 19年11月から12月とする方向で、関係者間で調整しています。どのように行うかはまだ検討中です。

香りの害・男女平等の取り組み

わたべ真実（まちだ市民クラブ）

問 洗濯用柔軟剤、芳香剤等の強すぎる香りで苦しむ人がいる。公共の場での対応は。

市民協働推進担当部長 消費生活センターにおいて、18年10月26日に香りの害をテーマとした市民向けの学習会を開催しました。今後は、消費者の香りのマナーや知識向上のため、ポスター等を通じて、広く啓発に努めていきたい。

問 男女平等施策を東京生活者ネットワークで各自治体に調査した。町田市議会の女性比率は27・8％。一方審議会の女性委員比率は40％が目標だが現在29・5％。比率を上げるための取り組みは。

市民協働推進担当部長 第4次町田市男女平等推進計画では、女性委員比率の目標を40％に設定し、関係各部長で構成している男女平等推進会議において、女性比率の向上の働きかけを行っています。

七国山地域の緑地保全について

山下てつや（公明党）

問 七国山一帯の緑地保全では、制度的に担保されたエリアだけでなく、その周辺にも景観や緑地保全の視点から重要な民有地があるが。

木島副市長 緑豊かなまとまった身近な自然地として保全していくことは重要であると認識しています。また、将来にわたり保全してほしいという意見も伺っています。

問 15～39歳ＡＹＡ世代のがん患者の支援を問う。

保健所長 保健師が市民からのさまざまな健康に関する相談を受けています。ＡＹＡ世代のがん患者の方についても、その中で相談を受け、必要に応じ支援をしていきます。

問 ＳＢＰ（ソーシャル・ビジネス・プロジェクト）をどのように認識しているか。

政策経営部長 これからのまちづくりを担う人材支援について研究していきます。

七国山緑地保全地域付近の鎌倉街道

次世代のためのまちづくり

友井和彦（諸派）

問 鶴間公園グラウンド等を使用する青少年健全育成を目的としたスポーツ団体の使用料について、減免等の配慮をすべきと考えるがどうか。

都市づくり部長 南地域に、地域スポーツクラブが編成されていない実情も踏まえ、組織化を促しながら、費用補助を検討しており、組織化及び制度設計を進め、次回定例会で報告したいと考えています。

問 大学等進学時の独自奨学金を創設し卒業後10年程度の市民税納税者等に減免策を。

政策経営部長 若い世代に向けた町田の魅力の向上策の1つとして、今後の研究ということで考えていきます。

問 民地の危険なブロック塀等への改修費の助成を。

都市づくり部長 研究していきたいと思っています。まずは撤去を対象としたところからスタートしました。

民生委員の応援・児童委員の応援を！

森本せいや（まちだ市民クラブ）

問 「障がい者歯科診療日」をふやし、当事者や先生方の負担軽減につなげるべきだ。

保健所長 歯科医師会でも統計をとっており、分析を一緒に進め、具体的な方針に結びつくように話し合いを進めていきたいと考えています。

問 「食物アレルギー」を周辺に理解してもらうため学校現場や食育での指導施策を。

保健所長 第2次町田市食育推進計画案では、食物アレルギーの理解促進や周囲への配慮等を取り組みの方向性の1つとして位置づけています。

問 「民生委員・児童委員」の方々の担い手不足と負担感増大を解消し、活動していただきやすい環境整備を。

市長 自治体として、活動が非常に大事だということ、民生委員に対するリスペクト、尊敬をしっかりともっと打ち出すべきだと思います。

標準服についての徹底を

矢口まゆ（諸派）

問 町田市の中学校は標準服であり着用義務はないが、現状保護者や生徒にその認識がほとんどない。さまざまな事情で標準服の着用が最善ではない生徒もおり、標準服購入前に着用義務はないと確実に伝えるべきである。着用は義務ではないと入学説明会で説明を徹底すべきだがどうか。

教育長 標準服は着る側とか着せる側の意見など、それぞれの立場からの意見、要望をお聞きして議論を尽くし決めたものです。入学説明会で標準服着用は強制ではないと説明した場合、生徒や保護者の皆様は、相当混乱されると思います。ご提案の中で最も大切と受けとめたのが、何らかの理由で標準服を着用できない子どもたちへの配慮、対応だと思いますので、十分に気をつけた説明をするように、改めて各学校長に伝えたい。

地域サポートセンターについて

星だいすけ（自由民主党）

問 （仮称）町田市地域サポートセンターについて問う。

市長 19年4月からの開設を予定しており、形態としては地区協議会の発展系で、時期としてはポストまちだ○ごと大作戦18―20、この2つの要素があると思っております。

問 日本サッカー協会こころのプロジェクト「夢の教室（ユメセン）」を提案する。

教育長 教育課程の編成や予算上の課題が解決できるなら、ぜひ校長会等を通じて各学校に働きかけていきたい。

問 オリパラの進捗状況とインバウンド対策は。

木島副市長 キャンプ招致は、インドネシア、中国、南アフリカの3カ国と覚書の締結に至っています。

経済観光部長 インバウンドは、これからも市、観光コンベンション協会、商工会議所で連携して取り組みたい。

私道移管補助事業の待機期間

深沢ひろふみ（保守の会）

問 私道移管補助事業は、受付から事業開始までに4～5年も待つ状況であり、私道移管を望む市民は待機期間の短縮を希望している。なぜ4～5年もかかるのか。

道路部長 できるだけこの待機件数を減らしたいとは考えています。ただ、人、お金、両方の関係で、なかなか事業費がつかないことなどの影響があり、現状としては、そのようなことになっています。

問 待機期間を縮める取り組みを町田市は行っているのか。

道路部長 事業費などの全体のバランスもありますので、限られた予算の中で執行していくことになります。一番古い順からやっていくというのは当然のことですけれども、極力減らしたいとは思っていますが、その辺は全体のバランスによることになります。

交通空白地区の解消に向けて

ちだ伸也（まちだ市民クラブ）

問 交通空白地区の解消に向けた取り組みを問う。

都市づくり部長 主な交通空白地区のうち、現在、相原、つくし野、本町田、高ヶ坂・成瀬の4地区で新たな公共交通サービスの導入に向けた検討を行っています。交通空白地区解消に向け、地域、事業者、市の3者協働により進めています。地域の機運が高まり、地域組織の形成が図られた地域から公共交通導入の検討を進めています。

問 まちだ健康づくり推進プランの進捗を問う。

保健所長 過去の計画から継承した健康に生活できるまちをつくる、安心できる地域医療があるまちをつくる、健康的な生活環境を備え人と動物が共生しているまちをつくるの3つの基本目標の下に7つの目標、20の施策を掲げて取り組みを進めています。

リニア工事の安全対策を万全に

斉藤かつひろ（公明党）

問 ユニセフ日本型子どもにやさしいまち事業とは。

市長 ユニセフは世界的な規模で児童の保護、福祉などの向上の一環として、子どもにやさしいまちの基準を定め、市町村が施策を進めていくことを援助、促進しております。

問 中央新幹線上小山田非常口工事の生活への影響は。

政策経営部長 交通誘導員は、工事状況に応じて適切に対応していただき、付近の住民や施設の生活環境の保全等について、適切な配慮が行えるよう、ＪＲ東海に要請していきたいと考えています。

問 児童生徒の携行品の重さや量についての配慮は。

学校教育部長 文部科学省の通知文を参考に、日々持ち帰るものや、置いていってよいものを検討し、大きい学用品を運ぶ日が重ならないよう、計画的に指導を行っています。

停電時に市民へ積極情報公開を

おぜき重太郎（保守の会）

問　台風24号の際に発生した長時間停電の原因は。

防災安全部長　町田市と稲城市で発生した19件の倒木による電線の断線及び電柱破損によるものと聞いています。

問　防災行政無線の回数をふやす、広報車を電力会社に要請するなど、市民不安の解消に努めてほしいがどうか。

防災安全部長　正確な情報をいただければ放送するということを事業者側に伝えています。今後も市で把握している正確な情報があれば、しっかりとお知らせしていきたい。

問　長時間の停電の際、市民は不安な気持ちでいっぱいである。電力会社からの早急な情報提供を求めるがどうか。

髙橋副市長　情報をともかく出してくれというのが我々のスタンスになると思いますので、そういう形で今後も考えていきたいと思います。

山崎団地のバリアフリーを問う

佐々木智子（日本共産党）

問　高齢者・障がい者等が安全に移動できるよう山崎団地周辺地区バリアフリー基本構想を見直すべきだがどうか。

都市づくり部長　全体の約6割が完了しています。17年度に福祉のまちづくり推進協議会に諮問しており、順次改定することとしています。

問　生活保護基準の引き下げが就学援助等の認定に連動しないよう求めるがどうか。

学校教育部長　準要保護の認定は、13年4月時点の生活保護基準の1・1倍未満で審査を行い、現時点で認定基準倍率の変更は考えていません。

問　ALT（外国語指導助手）派遣事業の現状と小学校の英語教科化への対応を問う。

学校教育部長　教員がALTに直接指示できるようになりました。新学習指導要領の内容を先取りする形で英語教育を進めています。

障がい者支援センターの充実を

細野龍子（日本共産党）

問　障がい者支援センターの相談機能を高めるため、予算の上乗せを求める。

地域福祉部長　各障がい者支援センターの業務量を引き続き把握し、年度ごとに適正な業務委託料について考慮していきます。

問　障がい者支援センターへの利用者アンケートを行うべきだが、どうか。

地域福祉部長　保護者会で、実際に皆様の声を聞いているところです。アンケートの実施は研究をしていきたい。

問　南町田区画整理事業について東急電鉄との費用負担、換地計画を問う。

都市づくり部長　次年度以降の推移を見きわめつつ、最終的な費用負担を決定していく考えです。今後、東急電鉄とともに検討を進め、事業の完了に向け換地計画にも反映していきます。

（仮称）国際工芸美術館整備

佐藤伸一郎（自由民主党）

問　博物館の今後についての考え方を問う。

文化スポーツ振興部長　博物館での展示は終了しますが、アウトリーチを積極的に展開し、より多くの人に文化芸術に触れていただきたい。

問　（仮称）国際工芸美術館の整備の考え方を問う。

市長　6月定例会でのご指摘を踏まえ、子ども、体験という視点、魅力を市内外に発信するという視点において、検討を進めているところです。

問　芹ヶ谷公園は中心市街地の重要な地で、文化芸術に出会える場とすることで、全国でも名の通る可能性を有する場所になると考えるが芸術の杜の今後の進め方を問う。

市長　（仮称）国際工芸美術館についても、芸術の杜という大きなテーマの中で、もう1度そのコンセプトからしっかりと検討したい。

芹ヶ谷公園

文学館は存続すべきである

殿村健一（日本共産党）

問　滞納整理事務は、市民の生活再建を基本にした対応を求めるがどうか。

税務担当部長　必要に応じて生活就労や生活保護の相談に案内しています。引き続き、関係部署と連携し、市民に寄り添った相談をしていきます。

問　「市民文学館は存続すべきである」との「答申」に対する認識を問う。

生涯学習部長　生涯学習審議会という専門的かつ客観的な立場から意見をいただいたと考えています。答申に基づき、年度内に教育委員会において方針を決定していきます。

問　リニア中央新幹線小山田非常口工事が地域の住環境に与える影響と住民の声に、どう対応する考えか。

政策経営部長　JR東海には丁寧な説明、市民生活に極力影響のないような工事、安全対策の徹底を要請します。

学校施設への安全対策強化を！

おく栄一（公明党）

問　事故を未然に防ぐため、今後とも防火シャッター等の危害防止機構の設置を計画的に進めてほしい。

学校教育部長　防火シャッターの更新は、中規模改修などに合わせて行い、既存シャッターへの危害防止機構の設置も、それぞれの学校の状況に応じて実施していきたい。

問　ドッグランは、公園以外に設置できる環境と要件が整えば新たに設置しては。

下水道部長　条件整備が整いました場合には可能であるかなと考えているところです。

問　がんの死亡者上位は、「肺がん」が占める。「肺がん検診」の再スタートを。

保健所長　40歳以上の市民が希望すれば胸部エックス線検査を受診でき、喀たん細胞診も実施できるような仕組みが可能か、研究を進めていきたいと思います。

まちだ○ごと大作戦について

白川哲也（保守の会）

問　本年より町田市制60周年を契機に始まったまちだ○ごと大作戦であるが、周年関連事業の実施状況はどうか。

広報担当部長　意識的に60周年を前面に出したものが感じられなかったかもわかりませんが、3Dホログラムの「町田今昔物語」、成瀬の文化財を成瀬で見る学ぶ大作戦という事業もあります。

問　補助金の出し方について多くの要望があったが、どのように改善したか。

髙橋副市長　目標値が集まったクラウドファンディングの可能性を含め、いろいろなものが出てきました。

問　今後の方向性、ポスト○ごと大作戦の考え方は。

市長　盛り上がりが終わると沈んじゃう、それを防ぐ仕組みとして、（仮称）地域活動サポートセンターが一定の役割を果たすと思います。

貧困の連鎖を断ち切るために

東　友美（まちだ市民クラブ）

問　貧困の連鎖を断つための取り組みは。

子ども生活部長　貧困の状況にある子どもが健やかに育成される環境の整備が必要だと考え、計画に沿って事業展開を図るとともに、国や都の動向を注視し、状況に応じて柔軟に対応していきたい。

問　本年の避難施設開設訓練において、資機材の設置ができない箇所があったが、今後の対応は。

防災安全部長　研修はしていますが、わかりにくい部分もあったと思います。災害のとき、訓練のときも含め混乱しないようにしていきたい。

問　本年6月定例会にて採択されたLGBTに関する請願について、その後の対応は。

市民協働推進担当部長　各課に確認をし、市営住宅入居について可能性があるか調査をしているところです。

町田市の国民健康保険について

石川好忠（自由民主党）

問　このたび国民健康保険制度改正が行われたが、町田市への影響はどうか。今後の具体的な取り組みは何か。

髙橋副市長　市民が行う手続きなどへの影響はありません。市では赤字額を10年間で50％削減する目標を設定しました。保険税を引き上げていくことになりますが、レセプト2次点検、データヘルス計画、収納率向上対策に取り組み、赤字削減を進めています。

問　町田市の現在のごみ減量状況、またイベント時のごみの取扱いについて問う。

環境資源部長　ごみとして処理する量は、17年度は、約10万トンであった09年度から7％減少しています。イベント時に、分別ステーションの貸し出しや、分別に関するアドバイザー派遣等を行うイベントごみ減量支援制度を利用いただいています。

老人クラブの補助金について

大西宣也（保守の会）

問　市老連に加入していない団体と加入している団体では市に対する貢献度が全く違っている。市の補助金は一律であるが貢献度に合った支給方法に変更すべきである。

市長　予算は、それぞれの要綱に従って決めているわけで、要綱の変え方は非常に難しい。ですから、根本的に自主的な組織と補助金との関係は、きょうここで今私が答えるぐらい簡単ではなさそうですが、しっかりそこはお尋ねに答えられるような整理をさせていただきたいと思います。

問　勤務中の喫煙は、公務の遂行にどのような支障があるか。今後の対応は。

総務部長　緊急の調整事に対応できない、また、業務量やチームワークにも影響することが想定されます。人事考課制度の実施で、離席の抑制を図っているところです。

用語の解説　本文中の青文字の解説です

◎Dサミット　【2面】
認知症の人に優しい町の実現に向けて、認知症当事者や現在まちづくりに取り組んでいる方々が集い、ともに考えるイベントのこと。

◎ＳＢＰ（ソーシャル・ビジネス・プロジェクト）　【3面】
地域振興の観点から、地元に残って地場産業の活性化やまちづくりを担う人材を各地で養成するために、高校生らが地域の課題を実際にビジネスの手法を用いて解決する取り組みのこと。

◎アウトリーチ　【4面】
公的機関、公共的文化施設などが行う、地域への出張サービスのこと。

◎喀たん細胞診　【4面】
気管支、肺から喀出されるたんを顕微鏡下で観察する検診のこと。

◎データヘルス計画　【4面】
健康・医療情報分析に基づく生活習慣病等予防事業実施計画のこと。効果的かつ効率的な保健事業を展開することで、健康の保持増進を図ることを目的としたもの。

傍聴を希望される方は市庁舎3階の

議会を傍聴しましょう

本会議・委員会のインターネット放映を行っています。

ニュースポーツ振興等について

おんじょう由久（公明党）

問 ニュースポーツのさらなる振興が必要。ニーズに沿った環境整備に対し、市の取り組みは。

文化スポーツ振興部長　第二次野津田公園整備基本計画の中に、スケートボードやBMX、インラインスケートができるスケートパーク施設を予定しています。クライミング設備は、沼中央広場に設置予定です。ボッチャ、ソフトバレーボールは年配者の方や障がい者の方に大変有効と考え、体験会を実施しています。

問 介護サービスを支える人材確保が必要。市の取り組みは。

髙橋副市長　アクティブシニアと呼ばれる元気な高齢者の就労支援を推進し、19年の1月から子育て中や子育てが一段落した女性、外国人などをターゲットとした新たな人材確保の事業を開始します。

南地区のスポーツ環境について

戸塚正人（まちだ市民クラブ）

問 南地区のスポーツ環境が市や都の計画により、スポーツ広場が時期を重複して使用できなくなり、多くのスポーツ難民が出ている。計画時期をずらす等の工夫を求める。

市長　鞍掛については利用率が低いので、少し工事をしない選択でとりあえずということはあるかもしれません。南はちょっと代替のエリアが見つからないという状況だということはよく認識しています。もう一工夫が必要なのかなというふうに思っています。

問 受益者負担の方針では、青少年育成に資するスポーツは使用料無料が原則だ。鶴間公園スポーツ広場は無料か。

市長　どういう形態であれば減免ができるということをあらかじめ示し、施設を使う方にも理解できるような仕組みを確立していきたいというふうに思っています。

新まちともの開設支援の充実を

松葉ひろみ（公明党）

問 新まちとも開始前に、スタッフが動きやすいように支援すべきと思うがいかがか。

子ども生活部長　消耗品など、直接購入できずに、不便を感じていると思います。協議会が直接行う方法を、現在検討しているところです。

問 医療的ケア児・重症心身障がい児支援協議会では、今後どのようなことを協議していく計画なのか。

子ども生活部長　協議会発足時に、市立小中学校での受け入れ、社会参加に向けた連携体制等の課題を挙げ、今後、庁内の調整と協議会の意見を参考に協議項目を定めます。

問 死亡手続きなどの煩雑な手続きを最小限で行える市民サービスをすべきだが。

市民部長　遺族の方向けのチェックリストは、工夫できる部分はありますので、他市の事例を研究していきたい。

平成30年度12月補正予算のあらまし

一般会計と特別会計を合わせた12月補正予算額は、1億1274万1千円となります。

一般会計補正額のうち歳入は、国庫支出金―△1836万9千円、都支出金―△5188万6千円、寄附金―6000万円、繰入金―1億6988万3千円、市債―△1500万円です。歳出の主なものは次の通りです。

総務費

財政管理費のまちだ未来づくり基金積立金―580万円、納税管理費の市民税過誤納還付金―4000万円。

民生費

児童青少年費の子どもクラブ整備工事監理委託料―△928万円、子どもクラブ整備工事費―△1億78万8千円。

消防費

防災対策費の消防団運営消耗品費―1075万7千円。

教育費

学校施設費のブロック塀等撤去・改修工事費―7005万6千円。

町田市議会の会議録

町田市議会のホームページ、市庁舎3階の議会図書室又はお近くの図書館でご覧いただくことができます。

（本定例会の会議録は、2月末に完成予定です。）

平成30年度(2018年度)12月補正　会計別予算構成表

（単位：千円）

区分			補正前の額	構成比(%)	補正額	計	構成比(%)
一般会計			154,545,664	57.2	90,628	154,636,292	57.2
特別会計	国民健康保険事業会計		43,931,131	16.3	22,113	43,953,244	16.3
	下水道事業会計		11,228,025	4.2	－	11,228,025	4.2
	介護保険事業会計		33,854,869	12.5	－	33,854,869	12.5
	後期高齢者医療事業会計		11,117,946	4.1	－	11,117,946	4.1
	病院事業会計		15,339,083	5.7	－	15,339,083	5.7
		収益的	14,482,341	5.4	－	14,482,341	5.4
		資本的	856,742	0.3	－	856,742	0.3
	小計		115,471,054	42.8	22,113	115,493,167	42.8
合計			270,016,718	100.0	112,741	270,129,459	100.0

議員提出議案

意見書（要旨）

本定例会では意見書8件を可決し、議長名で関係行政庁へ提出しました。要旨は次のとおりです。

住民票の除票及び戸籍の附票の除票の保存期間の延長を求める意見書

現状において全国で所有者不明土地が広く存在し、今後さらに増えると見込まれている。国においてさまざまな対策が取られているが、所有者不明土地だけでなく、空き家問題における所有者の特定に有効な住民票の除票及び戸籍の附票の除票については、現状5年を超えた保存は法的に義務付けられていない。

そこで、住民票の除票及び戸籍の附票の除票の保存期間を、現行の5年から150年程度に延長するよう法令改正を行うこと、及び法令改正までの期間、各自治体において除票等の廃棄が進行しないよう通達を行うことを求める。

内閣総理大臣ほか6件宛て

森林環境税の活用に関する意見書

国は「平成30年度税制改正の大綱」において、市町村が実施する森林整備等に必要な財源に充てるため、平成31年度の税制改正において、（仮称）森林環境税及び（仮称）森林環境譲与税（以下、「譲与税」という。）を創設することとした。

そこで、①都内市区町村の譲与税の活用に関する担当窓口を設置すること②都内の市区町村に交付される譲与税が、多摩産材など都の森林のために活用されるよう積極的に働きかけること③都に交付される譲与税を活用し、林業従事者育成のための諸施策を強化することを求めるものである。

東京都知事ほか1件宛て

白タク行為への更なる対策強化に関する意見書

近年、白タク行為が横行しており、これについては明白な道路運送法違反であることから、国土交通省、警察庁、法務省、業界団体等の連携により対策を行っているが、いまだ解決には至っていない。よって次の事項について所要の措置を講ずるよう求める。①白タク行為に該当するようなライドシェアは、利用者の安心・安全に極めて大きな懸念があり、更に、改正タクシー特措法の意義を損なうことが危惧されるため、十分慎重に検討すること②道路運送法違反である白タク行為に対し、更なる対策強化を行うこと。

内閣総理大臣ほか6件宛て

無戸籍問題の解消を求める意見書

何らかの事情で出生届を出さず戸籍がないこどもや成人が生じている無戸籍問題の早急な解消と、無戸籍者が不利益を受けないために、次の事項を求める。①強制認知調停の申立てについて、家庭裁判所の窓口の対応、ホームページの記載、および申立書の書式を是正すること②関係機関に対し無戸籍者問題の理解を促し、適切な対応を周知徹底すること③嫡出否認の提訴権者の拡大、出訴期間の延長のほか、嫡出推定の例外規定を設けるなど、新たな無戸籍者を生み出さないための民法改正を検討すること。

内閣総理大臣ほか4件宛て

義援金差押禁止法の恒久化を求める意見書

「義援金差押禁止法」とは、被災者の生活再建を支援するため、義援金の交付を受ける権利を譲渡したり、担保に供したり、差し押さえたりすることや義援金として交付された金銭を差し押さえることを禁止した法律であり、これまで東日本大震災をはじめ、台風や地震など災害発生のたびに時限立法として制定されてきた。しかし、近年の自然災害の頻度から恒久法としての制定が求められている。

そこで、災害のたびに立法措置するのではなく、国会が閉会している間にも対応が可能となるよう、恒久法として早期に立法化することを求めるものである。

内閣総理大臣ほか4件宛て

Society5・0時代に向けた学校教育環境の整備を求める意見書

Society5・0時代は、AI、IOT等の革新的技術を初め、ICT等の活用による新たな教育の展開が不可欠である。よって、次の項目の実現を強く求める。①18～22年度まで行う地方財政措置は、自治体においてICT環境整備に向けられるよう周知徹底し、より使い勝手の良い制度にする等、一層の拡充を行うこと②ICT支援員の配置が進むよう周知徹底し、教員向け研修等の充実を図ること③「公正に個別最適化された学び」を広く実現するため、「未来型教育テクノロジー」の開発・実証を行い、学校教育の質の向上を図ること。

内閣総理大臣ほか5件宛て

認知症施策の推進を求める意見書

認知症は、今や誰でも発症する可能性があり、誰もが介護者となり得るため、認知症施策の推進は極めて重要である。また、認知症施策の推進に当たっては、認知症と診断されても、尊厳をもって生きることができる社会の実現を目指し、当事者の意思を大切にし、家族等も寄り添っていく姿勢で臨むことが重要である。また、「若年性認知症」など、これまで十分に取り組まれてこなかった、多岐にわたる課題にも踏み込んでいく必要がある。よって政府におかれては、認知症施策のさらなる充実、加速化を目指し、基本法の制定も視野に入れた施策の推進を強く求める。

内閣総理大臣ほか4件宛て

東京都ならびに国における小中学校体育館等への空調設備設置促進に関する意見書

東京都は、暑さ対策を盛り込んだ92億円の補正予算案を公表した。そのうち、82億円を小中学校体育館等への空調設備設置など暑さ対策に充てるとしている。区市町村が契約、設計、工事を速やかに実施し、来年夏までに空調設置を間に合わせるために、都は、その補助率を2018年度のみ3分の2としているが、整備の促進を考えれば、2019年度以降もこの補助率の引き上げを継続すべきである。また、国においては、空調設備の設置が促進されるよう国庫補助を十分に確保すべきである。

内閣総理大臣ほか6件宛て

議会事務局へおいでください。
議会を傍聴しましょう
(http://www.gikai-machida.jp/)

委員会の審査から

市議会には、４つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

総務

12月13日に議案5件の審査を行いました。

町田市町田ターミナルプラザ条例の一部を改正～バスターミナルの開場時間を延長等～

委員　バスターミナルの時間の変更によって増便が見込まれるということだが、具体的にはどのような内容か。

産業政策課長　今現在入っている会社から時間帯をふやせば利用がふえる可能性があるという話をいただき、それに基づきアンケート調査を実施しています。そこで約20路線を新規に入れたいという希望があったということです。

委員　所要時間の増加ということになれば、より長距離が走れるのか。走るコースとかメニューがふえるのか。

産業政策課長　現在の便数のほかに見込めるところとして、名古屋方面、関西方面など、需要があるのではないのかとアンケートに回答をいただいています。

委員　昨今の社会問題として、特に長距離バスの運転手の不足という問題で、いわゆる過重労働とか、時間帯が広がるということで、そういった心配はないのか。

産業政策課長　ターミナルの時間帯がふえること自体は特段、労務関係ということでは影響は関係ないと思います。一方で、運転手が足りないことは、路線バスについても聞いているので、長距離においてもそのような状況にあると認識しています。

委員　朝1時間、夜1時間半ふやすことで、急に20台もふえるのか。

産業政策課長　アンケート調査をしたところ、もう少し時間帯を前後に延ばせば、ぜひ手を上げたいという意見もありましたので、今回、開場時間を変更しました。

健康福祉

12月13日に議案2件の審査を行いました。

デイサービス森野の指定管理者の指定について～選定方法について議論が深まる～

委員　評価のあり方としては、個社よりはグループ視点での評価をする必要性もあると思う。あえて個社でやるということで議論を尽くし、決めているのか。

高齢者福祉課長　株式会社と特定非営利活動法人は法人格が異なるわけですけれども、株式会社は出資者の資本を元手に営利を目的として運営される組織で、特定非営利活動法人は非営利で不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することが目的という形で運営されています。組織の成り立ちが多少異なって、一概に同じであるとは少し言いがたいと考えています。

委員　選考は3団体で選考委員会が決めたということだが、ほかの2団体とどの辺で差がついたのか。

高齢者福祉課長　応募団体のそれぞれの合計点を参考に候補者を決定しました。応募3団体に対する各委員の評価が多少違いますけれども、今回は人的安定性の項目、類似施設の管理実績の項目等でほかの2団体と差が出ていた形になっています。

委員　一番は継続性が問われると思う。採算が合わないからといってすぐ手を引かれてしまったら、実際利用している人が困るので、そういう面では、市が指定したということでは、しっかりとこれから継続して、毎年事業評価などをしながらやっていくのかどうか。

高齢者福祉課長　事業評価を毎年やっていますので、その中で見ていきたいと思っています。

文教社会

12月12日に議案15件、請願1件の審査を行いました。

小学校給食と同じような中学校給食の実施を求める請願

委員　請願者の方は、自校方式にこだわっているわけではない、その点はどうか。

保健給食課長　現在の方式がニーズに合っているということが第1点、それから、給食センター方式をとるにしても多額の費用がかかるのは同じことですので、現在のところは新たな方式へという展開は考えていません。

委員　ランチボックス形式の給食がおいしくないというイメージの問題で、もし頼まれていないのであれば、それは改善をしていかなければならない。それに対して今何か方策というものはとられているのか。

保健給食課長　小学校、中学校において、保護者向けですとか小学生向けの試食会を行っています。試食会の後にアンケート調査を行っているところで、どちらかといえばおいしいというような意見がおよそ50％前後です。悪い意見としては、量が選べるといいとか、保護者の方のつくるお弁当がよいというようなところです。小学校の給食はみんなおいしくて、中学校になると急においしくないという話になってきますと、何が違うかというと、本当に単純に比較をしますと、配食の際の温度設定だと思っています。小学校給食に携わってきた栄養士が今、中学校給食をやっていますし、栄養のことですとか、彩りを含めて責任を持ってかかわっていますし、今後もそのようにしていきたいですが、おいしくないという話だけは何をもってどう判断するかというのが難しいところなので、中学校に対して、少しＰＲを進めていかなくてはいけないと感じています。

委員　ほかの自治体では、ランチボックスでも主食の量が選択できるところもある。今後、検討の余地はあるか。

保健給食課長　ニーズがそこにあるとすれば、検討はしていかなくてはいけないと考えています。教育委員会が決めてすぐできるという話ではありませんし、業者のいわゆる人的、施設面的なものも含めた処理能力という部分もありますので、まずはそういった提案をする中で、実際に何が支障になってくるのか、検討はしたいと考えています。

建設

12月12日に議案5件の審査を行いました。

町田市自転車等駐車場条例の一部を改正～市以外の公共団体が直接管理へ等～

委員　全面的に管理運営を担ってもらうことで、市の役割はどのように担保されるのか。また、サービスの質とか料金などの設定について、協定書の中でどのような形で結ばれていくのか。

道路管理課担当課長　今後、整備センターに業務をお願いするに当たって、協定書を締結することとなります。基本的には利用料金を据え置くとか、利用者に対するサービスの低下にならないといったところは今後つくる協定書の中できちんと書き込みながら、今のサービス水準を下げずに、かつ利用料についても、例えば消費税が増税されるとか、そういった外的要因があると料金については変わるかもしれないけれども、基本的には料金も変えずにやっていきたいと思っています。

町田市立公園条例の一部を改正～公園の利用料金等を消費税率の引き上げに伴い改定等～

委員　公共施設の中で消費税の納税義務はあるのか。

都市づくり部次長　納税義務についてはありません。

委員　今回、消費税率引き上げに伴って料金を上げる理由を伺いたい。

都市づくり部長　施設を維持するためにかかる委託費等の管理コスト、支払いの部分には当然消費税を上乗せして10％になります。その消費税増額分を料金額に適正に転嫁しない場合、受益者に転嫁すべき消費税値上げ分が、税金ですので住民全体に転嫁するという形になってしまい、結果的に使っている人と使っていない人で不公平が生じてしまうところです。根拠としては、総務省から平成25年10月4日付で出された文書、「消費税率の引上げに伴う公の施設の使用料・利用料金等の対応について」で、「公の施設の使用料については、消費税率引上げに伴い、消費税が円滑かつ適正に転嫁されるよう、使用料の改定に係る条例改正等の措置を講じられたい」という通知を受けています。これに伴い、消費税率の引き上げと同時に転嫁を行わせていただくのが今回の趣旨です。

市議会を傍聴しませんか

市庁舎３階の受付カウンターまでお気軽にお越しください。

次回３月定例会の日程は1面をご覧ください。

Twitterを利用しています!

アカウント

町田市議会

(町田市公式)

@machida_gikai

～常任委員会の活動状況～

町田市議会では、常任委員会の活動として、市内の各種団体の皆さんと懇談会を開催し、市民と議会の意見を交換する場としています。懇談会で出された意見については、議会活動に反映させていただきます。12月に開催した懇談会は次のとおりです。

日付	団体名	内容	対応した常任委員会
12月19日	町田市知的障がい者育成会(町田市手をつなぐ親の会)	○障がい者グループホーム地域ネットワーク事業　他	健康福祉
12月19日	町田市聴覚障がい者の福祉向上のため共に歩む六団体懇談会	○聴覚障がい者の実情と障がい者差別の解消について	健康福祉
12月19日	特定非営利活動法人東京養育家庭の会みどり支部町田	○養育家庭について意見交換	文教社会

★第４回定例会 議案審議結果一覧表

賛否が分かれた議案

※若林章喜議員は議長のため通常の採決には参加できません。

○　賛成　×　反対　－　棄権　空欄は欠席

議案番号	議案名	議決結果	自由民主党											公明党						まちだ市民クラブ						保守の会					日本共産党				諸派			議決月日
			熊沢あやり	星だいすけ	木目田英男	石川好忠	渡辺厳太郎	松岡みゆき	いわせ和子	三遊亭らん丈	若林章喜(議長)	藤田　学	佐藤伸一郎	おさむら敏明	山下てつや	村まつ俊孝	斉藤かつひろ	おんじょう由久	松葉ひろみ	おく栄一	森本せいや	東　友美	ちだ伸也	佐藤和彦	わたべ真実	戸塚正人	白川哲也	深沢ひろふみ	おぜき重太郎	吉田つとむ	大西宣也	細野龍子	田中美穂	佐々木智子	殿村健一	新井よしなお	矢口まゆ	友井和彦	
★　市　長　提　出　議　案																																					
第120号	平成30年度(2018年度)町田市一般会計補正予算(第3号)	可　決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	12月21日
第122号	消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例	可　決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	12月21日
第126号	町田市町田ターミナルプラザ条例の一部を改正する条例	可　決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	12月21日
第129号	町田市立公園条例の一部を改正する条例	可　決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	12月21日
第135号	町田市立総合体育館外2箇所の指定管理者の指定について	可　決(賛成多数)	○	○	○	×	×	×	×	×		○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	12月21日
第137号	デイサービス森野の指定管理者の指定について	可　決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	12月21日
第142号	町田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可　決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	○	12月21日
第143号	町田市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例	可　決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	12月21日
★　議　員　提　出　議　案																																					
第21号	白タク行為への更なる対策強化に関する意見書	可　決(賛成多数)	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	12月21日
第26号	幼児教育・保育の無償化についての意見書	否　決	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	12月21日
第27号	東京都による学校体育館等へのエアコン設置補助に関する意見書	否　決	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	12月21日
第28号	学童保育の職員配置、待遇改善に関する意見書	否　決	×	×	×	×	×	×	×	×		×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	12月21日
★　請　願																																					
第13号	国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	議長	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	×	×	12月11日
第14号	小学校給食と同じような中学校給食の実施を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	○	×		×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	－	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	×	×	12月21日

全員一致で可決された議案

議案番号	議案名	議決月日
★　市　長　提　出　議　案		
第121号	平成30年度(2018年度)町田市国民健康保険事業会計補正予算(第2号)	12月21日
第123号	町田市地域センター条例の一部を改正する条例	12月21日
第124号	所得税法等の一部を改正する等の法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例	12月21日
第125号	町田市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	12月21日
第127号	町田市自転車等駐車場条例の一部を改正する条例	12月21日
第128号	町田市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	12月21日
第130号	町田市立町田第一中学校改築工事請負契約	12月21日
第131号	町田市立町田第一中学校改築電気設備工事請負契約	12月21日
第132号	町田市立町田第一中学校改築給排水衛生設備工事請負契約	12月21日
第133号	町田市立町田第一中学校改築空気調和設備工事請負契約	12月21日
第134号	町田市立町田第六小学校防音及びトイレ改修工事請負契約	12月21日
第136号	町田市立室内プールの指定管理者の指定について	12月21日
第138号	成瀬中央あおぞら学童保育クラブ外7箇所の指定管理者の指定について	12月21日
第139号	藤の台ポケット組学童保育クラブの指定管理者の指定について	12月21日
第140号	本町田学童保育クラブ外1箇所の指定管理者の指定について	12月21日
第141号	相原中央公園外26箇所の指定管理者の指定について	12月21日
第144号	玉川学園コミュニティセンター改築工事請負契約	12月21日
第145号	損害賠償の額の決定について	12月11日
★　議　員　提　出　議　案		
第19号	住民票の除票及び戸籍の附票の除票の保存期間の延長を求める意見書	12月21日
第20号	森林環境税の活用に関する意見書	12月21日
第22号	無戸籍問題の解消を求める意見書	12月21日
第23号	義援金差押禁止法の恒久化を求める意見書	12月21日
第24号	Society5.0時代に向けた学校教育環境の整備を求める意見書	12月21日
第25号	認知症施策の推進を求める意見書	12月21日
第29号	東京都ならびに国における小中学校体育館等への空調設備設置促進に関する意見書	12月21日

2018年11月8日の訪問時の様子

議長、副議長が、中国オリンピック委員会と東京オリンピック競技大会の事前キャンプの開催についての覚書締結のため、北京市を訪問

手話通訳・要約筆記（ノートテイク）を希望する方へ

本会議や委員会の傍聴を希望する聴覚等に障がいのある方に、手話通訳者や要約筆記（ノートテイク）者の派遣を行っています。希望される場合は、傍聴希望日の７日前（土・日曜及び祝日を除く）までに、ＦＡＸ（050－3161－7663）で議会事務局までお申し込みください。

なお、手話通訳者及び要約筆記者の確保ができない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

申込内容

- **希望する派遣の種類（手話通訳又は要約筆記）**
- **住所**
- **氏名**

※申込者以外にも手話通訳及び要約筆記を希望される方がいる場合は、他○名と記載してください。

- **傍聴希望日時又は内容**

傍聴者の声

12月定例会を傍聴された方に対し、アンケートを実施しました。ご協力いただき誠にありがとうございました。

傍聴者数：302名

本市議会では、傍聴券の交付を受ければどなたでも傍聴することができます。住所、氏名の記載も必要ありません。年１回、例年12月定例会でアンケートを実施し、傍聴されて気づいた点や市議会全般についてご意見ご要望等をお聞きする機会としています。

【主なご意見】

○議案の内容（冊子）、一般質問通告書（冊子）の傍聴者への配布はたいへん嬉しかった。よく読みこみたいと思った。
○初めて会議の傍聴をしました。生で議論が聞けて、いろいろ考えさせられました。中学校給食についての請願は若いお母さんが署名をたくさん集め、いろいろ調べて今日にのぞんでいることがよく分かりました。
○市民の声をしっかり受け止める市議会であってほしいです。
○①時計を大きく、見やすい所に掲げて欲しい。
②発言者の画面（テレビ）が傍聴席の左右にあり、小さく見づらい。議長席の右か左側の壁面に大画面で掲げて欲しい。
③傍聴席が高い位置にあり、議会の様子が分かりづらい。
○白熱した議論や答弁に対する傍聴席のどよめきが臨場感を感じることができてよかった。
○せっかく資料をデータ化しているなら、映像にも写していただけると、内容がよりわかりやすくなると思った。
○タブレット資料がペーパーレスになっていたことに驚きました。画面に映す等していただいて、傍聴席でも見られれば良いと思いました。
○町田市の様々な事業の取り組みについて知ることのできる場であると感じました。
○初めて市議会を傍聴し、どのような形式で行っているのかということが分かりました。様々な事について、市民の意見が反映できるよう議員や職員が議論していることが分かりました。
○発言をするたびにテレビ画面に映しだされたり、マイクが赤く光るので見やすかった。話す内容について関連する条例・計画の概要がアクセスしやすかったらもっと理解が進むかも。

第2回　高校生と議員の意見交換会

各グループで話し合った内容の一部をご紹介します
詳しくは、市議会ホームページへ

QRコード

Aグループ

若者から高齢者まで暮らしやすい街づくり

- 不審者や詐欺等がたくさんある、道が暗くて狭い。
- 小学生などは、家と学校以外の居場所として児童館などがあるが、中高生の過ごせる場所がない…図書室などでも自習が禁止されていて、自習ができない。
- 若者の視点から…映画館や中高生が過ごせるパブリックスペースを作った方が良い。
- 高齢者の視点から…不審者情報や詐欺等の情報を共有する場を作ったほうが良い。
- 町田市の特産品を作ったり、ゆるキャラを利用して町田市のことを発信したり、街灯を増やし道路を明るくすれば、若者から高齢者まで安心して暮らしやすい街づくりになるのではないか。

Bグループ

町田の道を理想の道にしたい‼ 町田市を盛り上げるためにイベントを活性化させよう‼

- 通学路に限定して、植木鉢をガードレール代わりにする道があってもいいのではないか。
- 植木鉢にぶつかると土がこぼれたり、花が倒れたりと大変。植木鉢があることで周りに気を付けるため、車の速度も落ちるのではないか。
- TwitterとかインスタグラムなどのＳＮＳを使って情報を拡散したり、人通りが多い駅前にイベントのポスターを貼る所を作り、人の目につくようにする。
- 体験型のイベントを実施…市内や駅前でのスタンプラリーイベントをして、その景品を高校生が作るなど。町田市内のたくさんの高校生が協力して、その一日を作り上げる高校生主催のイベントがあってもいい。

Cグループ

歩行者と車イスと自転車

- 自転車レーンに路上駐車が多い。物理的に駐車場の数を増やすことで路上駐車が減るのではないか。
- バリアフリーの強化をしてほしい、道を広くしてほしい、明るくしてほしい、街灯を付けてほしい…この○○してほしいというのは、なぜ叶わないのか。○○してほしいという要望をどこに伝えればいいのかわからない。
- ○○してほしいという要望を伝えられる場所（部署など）をポスターや呼びかけ、ホームページでより一層アピールしてもらえれば、改善につながっていくのでは。
- バリアフリーの拡充、道を広くしてほしい、街灯を増やしてほしい…。それらは道路整備を進めてもらえれば叶うことなのではないか。道路整備によって道が広くなり、自転車が通り難い問題も解決するのではないか。

Dグループ

町田市 Number1 大計画‼

- 行政情報発信力が弱い。
- ＳＮＳを使って、町田市に住んでいる人、他の地域に住んでいる人に良いイメージを伝えたり、町田市といえばこれ！というものを作り、広めていくことが良いのでは。
- ＳＮＳ等をフル活用して発信していくことは大切だと思う。また、議員とあまり触れ合う機会もないので、学校のイベント、例えばＨＲ(ホームルーム)の時間などを使って、町田市、行政などについてもっと説明していただく講習会を開くなどしてほしい。
- もっと私たち町田市民も、町田市についての見聞を増やし、市外の人からも「町田市ってこういうまちなんだね。いいまちだね。」と言われるような町田市にしていければと思っている。

Eグループ

誰もが安心して暮らせる町田へ

- 交通安全教室の実施が、高校生と大人にも必要。
- 高校への通学路に、自転車用の白線が敷いてあるが、車が停まったり、入っていることが多く、正直あまり役に立ってないのではないか。しっかりとした歩道と同じような自転車専用道路の増設が必要ではないか。
- 街路灯の予算の拡充を進めていただきたい。
- 路線バスを10分に一度に来るようにしたい。難しいとは思うが、市営バスを設立すればいいのではないか。
- 学校の実情報告書を作成してはどうか。いまこういう先生がこの場所に必要ですというものを詳しく書く報告書があれば、適切ではない人事異動がなくなるのでは。

Fグループ

ステキなスクールライフを送る為の通学路改善計画

- 各々通学時間が多くかかるという現状から、バスの本数を増やしてほしい。坂道が多く自転車での通学が大変。
- バス停から学校までのシャトルバスがあれば、もっと学校に通いやすくなるのではないか。
- 通学路に商店街や商店、コンビニを作れば街灯を多くしなくても、夜道は怖くない。安心して学校に通えるのではないか。
- 通いやすさの面が解決するだけで、受験を控えた学生たちが、学力面だけではなく、通いやすさ等の面でも町田市内の高校を選ぶのではないか。
- 通学面の問題が解決されることは、素敵なスクールライフをエンジョイすることができる第一歩だと考える。

参加してくれた高校生の自由意見（アンケート結果より抜粋）

Q　市民の方が議会に関心を持ってもらうにはどうしたらいいと思いますか。

・ＳＮＳ等での発信をもっと強める（他同様の意見あり）。
・こういう機会を一般化してもいいと思いました。
・このような活動をもっとふやし、若い人達にもアピールするべきだと思います。
・活動報告や現状をわかりやすい言葉で発信する。

Q　参加されてきづいた点や市議会全般について、ご意見ご要望等ありましたらご記入ください。

・第１回も参加しましたが、いろいろな学校の人と交流したくさんの話をきけたのは良かったです。また、議員さんと意見を言い合えたのも良かったです。
・議員の方々との討論会をしてみたかったです（他同様の意見あり）。
・今回、町田市民なのに知らないことが多く、もっと市民に町田市に興味をもってもらう必要があると思った。

◎12月定例会の日程

月	日	内容
11	29 (木)	本会議 議会運営委員会
	30 (金)	議案説明会 全員協議会
12	4 (火)	本会議
	5 (水)	本会議
	6 (木)	本会議 議会運営委員会
	7 (金)	本会議
	10 (月)	本会議
	11 (火)	本会議 議会運営委員会 第16期町田市議会改革調査特別委員会
	12 (水)	常任委員会 （文教社会・建設）
	13 (木)	常任委員会 （総務・健康福祉）
	14 (金)	第16期町田市議会改革調査特別委員会
	21 (金)	本会議 議会運営委員会

傍聴者数:302名	2			50	55	34	14	13	3	75		56

目の不自由な方のために、点字と声（カセットテープ版、デイジー版）の「町田市議会だより」を発行しています。ご希望の方は、議会事務局調査法制係（☎042－724－4049）までお申し込みください。

リサイクル適性Ⓐ この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この広報紙は、114,226部作成し、1部当たりの単価は11円です。(職員人件費を含みます。)

UD FONT